

診療科	血液内科	管理番号	
レジメン名称	DVMP療法(2~9サイクル)		
対象疾患・ステージ・適応外の有無等	多発性骨髄腫(新規診断患者および再発難治性患者)		
本治療の位置づけ	ダラツムマブは再発難治性多発性骨髄腫にのみ保険適応があったが、VMP療法との組み合わせで、新規診断例においても使用可能となった。本治療は初発の患者さんの初期治療あるいはダラツムマブ、メルファラン未使用の再発難治性多発性骨髄腫患者さんに使用を考える。		

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール																																							
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	8日目	9日目	11日目	12日目	15日目	16日目	22日目	25日目	29日目	32日目	36日目																								
治療内容	Rp1	ブレドニゾン	40mg/m ²	朝・昼食後	経口		●	●	●																																				
	Rp2	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²	30分	皮下注	●					●						●		●																										
		生理食塩液	20mL																																										
	Rp3	デキサメタゾン	19.8mg	100mL	表1参照	点滴静注	●											●																											
		生理食塩液	100mL																																										
Rp4	ダラツムマブ	16mg/kg	1000ml/500mL	表1参照	点滴静注	●											●																												
Rp5	メルファラン	6mg/m ²				朝食前	経口	●	●	●	●																																		
<p>表1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投与時期</th> <th rowspan="2">希釈後の総量</th> <th colspan="4">投与開始からの投与速度 (mL/時間)</th> </tr> <tr> <th>0~1時間</th> <th>1~2時間</th> <th>2~3時間</th> <th>3時間以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初回投与</td> <td>1000mL</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">100</td> <td rowspan="2">150</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>2回目の投与</td> <td>*1500mL</td> </tr> <tr> <td>3回目以降の投与</td> <td>500mL</td> <td>*2100</td> <td>150</td> <td colspan="2">200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 初回投与開始時から3時間以内にinfusion reactionが認められなかった場合、500mLとすることができる。 ※2: 初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/時間以上でinfusion reactionが認められなかった場合、100mL/時間から開始することができる。</p>																						投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (mL/時間)				0~1時間	1~2時間	2~3時間	3時間以降	初回投与	1000mL	50	100	150	200	2回目の投与	*1500mL	3回目以降の投与	500mL	*2100	150	200	
投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (mL/時間)																																											
		0~1時間	1~2時間	2~3時間	3時間以降																																								
初回投与	1000mL	50	100	150	200																																								
2回目の投与	*1500mL																																												
3回目以降の投与	500mL	*2100	150	200																																									
総投与時間																																													
血管外漏出時のリスク	ダラツムマブ…非壊死性抗がん剤(血管外漏出が起こっても、炎症や壊死を起こしにくい薬剤)として扱う。																																												
(備考)調製時・投与時の注意点など	ボルテゾミブ…溶解後は8時間以内に使用する。 ダラツムマブ…投与前に推奨される検査として、骨髄機能(血液検査)・肺機能(FEV1等)・輸血検査がある。																																												
1サイクル期間	42日																																												
総コース数	1~8(2~9サイクル)																																												